

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

| | |
|-----------|---|
| 1 施設名 | エル・パーク仙台 |
| 2 指定管理者 | 公益財団法人せんだい男女共同参画財団 |
| 3 指定期間 | 令和3年4月1日～令和8年3月31日 |
| 4 施設の利用状況 | <p>《利用者数》 令和4年度 112,423人(※1)(前年度比 152.1%) 令和3年度 73,937人(※2) 令和2年度 51,563人(※3) ※1～※3 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための措置については下記①～⑩参照。 ①令和2年2月20日から令和3年9月30日までの予約について、感染拡大防止を理由に利用を取りやめた場合は施設使用料を全額返金。ギャラリーホール及びスタジオホールについては令和2年2月20日以降の予約について同対応。 ②令和2年3月5日から5月31日までの利用にかかる新規申込受付を停止(ギャラリーホール、スタジオホール、セミナーホール、調理実習室については6月18日まで)。 ③令和2年4月10日から5月31日までの利用自粛を要請。 ④令和2年6月19日から令和4年3月31日までのギャラリーホール及びスタジオホールの利用について、定員の半数以下(令和2年9月19日利用分以降は条件緩和あり)での利用を条件として、施設使用料の50%を減免。 ⑤令和3年3月27日から5月11日までの利用にかかる新規申込受付を停止及び同期間の利用自粛を要請。 ⑥令和3年8月20日から8月29日までの20時以降(ギャラリーホール及びスタジオホールについては夜間区分)にかかる新規申込受付を停止及び同期間の利用自粛を要請。 ⑦令和3年8月30日から9月12日までの利用にかかる新規申込受付を停止及び同期間の利用自粛を要請。 ⑧令和3年9月14日から9月30日までの20時以降(ギャラリーホール及びスタジオホールについては夜間区分)にかかる新規申込受付を停止及び同期間の利用自粛を要請。 ⑨令和4年1月1日から6月30日までに感染拡大防止を理由に取りやめ手続きをした予約について、施設使用料を全額返金。 ⑩令和4年7月20日以降、感染拡大防止を理由に取りやめ手続きをした予約について、施設利用料を全額返金(令和5年5月7日利用分まで)。</p> <p>《事業》 ・施設の管理運営 ・男女共同参画に関する市民活動の支援及び交流の促進、女性と防災まちづくり拠点事業 ・大規模災害時における仙台市女性支援センターの運営</p> |
| 5 収支の状況 | <p>《費用》 ()は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者に支払った費用 205,233千円 (196,460千円) ・ その他市が負担した費用 51,672千円 (78,710千円) <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料収入 33,550千円 (24,438千円) ・ その他収入 401千円 (307千円) |
| 6 利用者の声 | <p>《実施状況》</p> <p>①利用者アンケートの実施 令和4年11月15日から12月14日まで施設利用者に対してアンケートを実施し、アンケート結果及びサービス改善に対する提案・意見への回答を施設内に掲示するとともに、ホームページ上で公開した。</p> <p>②センター利用団体交流会の実施 「男女共同参画推進せんだいフォーラム2022」期間中に、センター利用団体同士の情報交換を促す交流会を実施し、利用者の意見を職員が聴き取った。</p> |

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

| 評価分野 | 所見 | 評価 |
|----------------|---|-------|
| I 総則 | <p>施設の設置目的や施設運営上の基本方針に基づき、適切に管理運営されており、設置目的の達成に向け、職員一人ひとりが事業企画や施設管理に反映できるよう、会議や研修の機会を通じて意識を共有している。また、館内の壁面や展示スペースを活用し、センターの事業や機能の紹介を常時行っているほか、男女共同参画推進への理解と関心を高めるための企画展示を随時実施している。利用者が公平・公正に施設を利用できるよう、情報提供や受付を行うとともに、市民活動スペースの運営や財団の市民活動サポート事業などを通して市民の自主的な活動をサポートしている。</p> | 21/21 |
| II 施設の運営管理体制 | <p>職員の勤務状況、配置状況、施設の開館、指定管理料について適切に管理されているほか、イベント開催時や繁忙期も、施設運営や市民サービスに支障を来さないよう、柔軟な職員配置を行っている。情報セキュリティ対策では、記録媒体やデータの保管・管理を適切に行っているほか、内部研修によりすべての職員が個人情報保護について高い意識を持つよう努めている。また、事故発生時や非常時の体制も整備し、随時見直しを行っているほか、男女共同参画に係る施設の全国組織で運用する相互支援システムを活用し、災害時には全国の加入施設と連携、支援を行う体制を整えている。</p> | 31/30 |
| III 施設・設備の維持管理 | <p>建物・設備・備品の適切な維持管理を行うとともに、随時点検を行い、必要に応じ修繕を行っているほか、工事等による利用者の安全や利便性への影響を最小限とするよう、ビル管理会社、工事会社との連絡調整を適切に行っている。併せて、清掃・警備等の委託業務についても、随時情報を共有しながら適切な管理を行っている。また、環境への配慮については、ビル全体のゴミ分別に協力するとともに、利用者にもゴミ分別や節水を呼びかけるなど積極的な対応を行っている。</p> | 20/20 |
| IV サービスの質の向上 | <p>服装や身だしなみ、電話窓口対応など普段から適切な対応に努めており、姉妹館であるエル・ソーラ仙台との定期的なミーティングにより常にサービス向上のための情報共有を行っている。また、利用者の希望を丁寧に聴き取り、その状況に応じて事前のリハーサルを勧めたり、現場に出向き操作説明を行ったりすることにより、催事がスムーズに行えるよう努めた。このほか、貸室の備品等について写真付きの資料を用意し、窓口での手続きの際に提示しながら説明を行うなど、常に利用者目線に立ち、サービスの質の向上に努めている。</p> | 28/28 |
| V 施設固有の基準 | <p>施設の使用許可、使用料徴収や収納、還付事務等については規程類に従って適切に行われている。特にコロナ感染拡大に伴う施設使用料の還付の手続きについて利用者に対し個別に丁寧に対応を行った。また、社会情勢を捉えた講座を継続的に開講するとともに、受講者から派生した自主活動グループの支援を継続するなど、専門性を活かした事業を展開している。「ジェンダー論講座」で学生向けの割引を行うなど、若年層へのより一層の働きかけを行っており、着実に成果を挙げている。</p> | 21/20 |

三 評価総括

| 《指定管理者（公益財団法人せんだい男女共同参画財団）による自己評価》 |
|---|
| <p>仙台市の男女共同参画推進の拠点施設として、エル・ソーラ仙台とともに2館で機能を分担し、センターの設置目的に則った管理運営を行っている。ホール及び多様な諸室・設備、市民活動スペースの管理運営を協定書・仕様書に沿って円滑に実施するとともに、それぞれの機能が相互に連携し、男女共同参画推進センターとして一体的にアピールするよう努めている。また、市民活動スペース内に設置している女性と防災コーナーでは、防災まちづくりにおける女性のリーダーシップの重要性を効果的に発信している。開館から30年以上が経過し施設・設備の老朽化が進んでいることを踏まえ、年次計画に沿って修繕を着実に遂行し、利用者の安全性・利便性の確保に努めている。</p> <p>(1) 施設の管理運営 利用者のニーズの聞き取りや分かりやすい館内掲示・説明資料など、利用者目線に立った丁寧な市民対応を心掛けている。課内会議及びエル・ソーラ仙台受付担当職員とのミーティングを毎月行い、サービス向上のための情報共有を図っている。新型コロナウイルス感染症対策では、利用者が安心して施設を利用できるようガイドラインの徹底と周知を行うとともに、作成したマニュアルをもとに施設使用料の還付事務を円滑に遂行した。</p> <p>(2) 男女共同参画推進に関する市民活動の支援及び交流の促進、女性と防災まちづくり拠点事業 市民団体の活動の幅を広げるための交流会を行ったほか、チャレンジ・ラボ事業では初めてイベントに取り組む市民や市民団体をサポートしながら、市民協働による事業を展開している。また、仙台市との共催で実施している「地域版女性リーダー育成プログラム『決める・動く』」の修了者に女性と防災コーナーのミニイベントに登壇してもらうなど、財団の自主事業と有機的に連携させ、地域で活躍する女性リーダーの見える化に取り組んでいる。</p> |

| 《施設設置者（仙台市）による評価》 | 総合評価 |
|---|------|
| <p>エル・パーク仙台の管理運営にあたり、施設利用の相談や申込受付について、希望を聞き取り、その状況に応じて事前のリハーサルを勧めたり、現場に出向き操作説明を行ったりする等、丁寧に対応している。また、貸室の備品等について写真付きの資料を用意し、利用者自身の作業工程が視覚的に理解できるよう工夫するなど、常に利用者目線を意識して改善に取り組んでいる。また、姉妹館であるエル・ソーラ仙台と情報共有を図りながら、施設の利用に係る手続きの簡略化に向けた各種申請書類の見直しや、サービス水準を確保するためのマニュアル改定等を随時行うなど、常に管理運営の向上に努めている。</p> <p>施設の維持管理については、老朽化が進んでいることを踏まえつつ施設の状況を把握するよう努め、更新・修繕等を適切に行っているほか、工事を実施している間も、利用者が安全かつ安心して施設を利用できるよう努めている。</p> <p>センターを拠点に活動している市民団体の活動を支援するため、貸室の先行予約や市民活動スペースの事前予約制度を設けているほか、年間を通して公募共催事業を実施している。</p> <p>チャレンジ・ラボ事業では、女性たちの多様な力を発揮する機会を創出し、さらなる活躍の後押しを図っており、また、女性と防災まちづくり拠点事業の展開においては、地域版女性リーダー育成プログラムと連携し、平時における女性のリーダーシップの重要性について効果的に発信するなど、男女共同参画推進に係るセンターの拠点性を高める取り組みを実施している。</p> <p>指定管理者として、関係する条例等の内容に基づき適切に施設の管理運営を行うだけでなく、日頃から地域の女性たちとのつながりや多様な主体との連携を深めていくことで発信力を高めるなど、男女共同参画推進センターとしての役割を十分に果たしており、非常に優れた運営管理を行っている」と評価できる。</p> | S |

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

| 特記事項 | |
|--------------------------------|---|
| 女性と防災まちづくりに関連した事業 | 地域防災やまちづくりへの女性の参画を促進するため、以下の事業を実施した。 ①女性が地域でリーダーシップを発揮できるよう、自身の力を引き出す研修事業「地域版女性リーダー育成プログラム『決める・動く2022』」を実施した。また、「世界防災フォーラム/防災ダボス会議」では、これまでの修了者が登壇し、各地域の取り組みの好事例やプログラムの成果について発信した。 ②仙台防災枠組の推進に向けて来館者の理解と関心を高めるため、女性のリーダーシップ促進に関する展示を常時実施している。 ③防災まちづくりにおける平常時から女性のリーダーシップを後押しし、女性の活躍を地域で支える環境づくりを推進するミニイベントを実施した。 |
| 男女共同参画推進せんだいフォーラム | 市民活動支援を目的とした「男女共同参画推進せんだいフォーラム2022」の参加団体事前打ち合わせで「SNS活用術ミニレクチャー」を行った。オンラインの企画も増えてきているなか、ポストコロナに向けた新しい市民活動支援のあり方を提示できた。参加団体と感染症対策等について意見交換を重ね、各団体の協力のもと様々な対策を講じて開催することができた。 |
| 市民活動スペースをはじめとするセンターの活性化に向けた取組み | 市民活動スペースでチャレンジ・ラボ事業や女性と防災まちづくり拠点事業を展開しているほか、5階エントランスを活用し、男女共同参画週間や女性への暴力防止週間に合わせた企画展示を実施し、貸室利用者等の来館者への働きかけを効果的に行っている。また、男女共同参画推進を目的としてセンターを拠点に活動している市民団体の活動を支援するため、貸室の先行予約や市民活動スペースの事前予約制度を設け、社会的活動への展開を後押ししている。 |

◎ 評価担当課（施設所管課）：市民局市民活躍推進部男女共同参画課